



権現山（金沢八景駅西側）よりの神社遠景（平成二五年九月撮影）
駅前には区画整理区域に高層建造物ができるとこの眺望は失はれます。

「みたまのふゆ」とは、私共が常に慕っていたる大神様の恩徳、加護、御神威を尊称した言葉です。人間は自分ひとりの力で生きてゐるのではなく、つねに「みたまのふゆ」をいただいて、生かされてゐるのです。

「まつり」の意義

地域と神社

「政」の文字を古くは「まつりごと」と読んだことは知られてゐます。もちろん「祭」も「まつり」ことでもあります。

「まつり」の語源については諸説がありますが、語幹の「まつ」は「待つ」に通じてゐるとするの有力な説です。人と人が待ち合わせて、そして出会ひ、一緒にになり、語り合つて理解を深めあひます。多くの人が、理解を深め、思ひをひとつにまとめあふことが「まつり」なのです。社会を構成する多くの人々の思ひを一つにまとめ上げ、物理的に社会の方向を定め、それを推進する作業が「政治」であります。

その根底には、物理的要素以前に多くの人の思ひや祈りの心をつにしてゆくはたらきが不可欠です。地域の人等の共通の思ひや祈りを結実させるのが「祭」の「まつり」にほかなりません。「祭」を通じて思ひをひとつに集合した人々の集団が「まち」（町）となるのです

平成二十七年度祭事暦

- ◎ 一月 一日 歳旦祭
鶏鳴神事
- ◎ 三月 二日 春季大祭
祈年祭・合祀神例祭
- ◎ 五月 一五日 例大祭
神社本廳献幣使参向
琵琶島弁天社へ神輿渡御
- ◎ 四月 二九日 昭和祭
- ◎ 六月 三〇日 大祓式
大祓人形納め・茅の輪神事
- ◎ 七月 五日 天王祭出御祭
本社神輿御霊入・宮出渡御
- ◎ 七月 七日 三つ目神楽
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 七月 二日 天王祭巡幸祭
天王神輿町内巡幸
- ◎ 七月 一九日 手子神社例祭
- ◎ 九月 一日 浅間神社例祭
- ◎ 九月 一七日 熊野神社例祭
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 一〇月 一八日 手子神社秋祭
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 一二月 二三日 秋季大祭
新嘗祭
- ◎ 二月 八日 歳の市
開運熊手授与
- ◎ 二月 二三日 天長祭
- ◎ 二月 三一日 大祓式
大祓人形納め・古札焼納式
- ◎ 毎月 一日 月次祭